

2018年9月度（第362回）ライフサイエンス分科会

開催日時：2018年9月20日（木）14:00～17:00

開催場所：日本図書館協会会館 5階 会議室

参加人数：9名

内容：JAPIC、グローバルデータ・ジャパン 発表

記入者：（一財）日本医薬情報センター 井上 彰

① 「ブルーブック連携データベース」の紹介

演者：（一財）日本医薬情報センター 小野塚 誠

- ジェネリック医薬品の品質確保と情報提供に向けた取り組みとして、ジェネリック医薬品品質情報検討会のワーキンググループがまとめているブルーブック（医療用医薬品最新品質情報集）の概要を説明
- JAPICでは添付文書情報作成・情報提供事業の経験を活用し、ブルーブックデータシート作成に協力。添付文書データを活用した「ブルーブック連携データベース」を一般公開している
- 「ブルーブック連携データベース」では、医療用医薬品の「効能・効果」、「用法・用量」、「添加物」を参照することを目的とし、先発医薬品とジェネリック医薬品で一般名や商品名などから検索し、比較・閲覧することが可能
- 「ブルーブック連携データベース」では、単に添付文書上のデータを羅列しているのではなく、閲覧時に比較しやすくなるよう JAPIC がデータを処理しているのが特徴で、ブルーブックとともに無償で誰もが利用可能となっている
- 「ブルーブック連携データベース」URL <http://www.bbdb.jp/>

② 「Pharma Intelligence Center」の紹介

演者：グローバルデータ・ジャパン株式会社 奥村 加奈

- 医薬品や医療機器などのヘルスケア、エネルギー分野、コンシューマー分野などの多岐にわたるビジネス情報を収集し提供している

- そのうち医薬品に関しては「Pharma Intelligence Center」から開発中の治験情報、企業情報、疾病治療や市場規模、KOL、レポート情報といった様々な情報を一つのプラットフォームにて提供している
- 近年のソーシャルメディアにおける影響力の大きいインフルエンサーに関しても、モニタリングし特定の主題に関する傾向などを分析するツールも提供
- 未公開情報スクープなど他のソースでは得られないような情報について、ジャーナリストが KOL にインタビューしスクープ情報として提供するユニークなサービスも行っている
- 医療機器に関しても医薬品と同様の情報を UI にて情報提供を行っており、医薬品や医療機器の最新の開発状況、治療に与えるインパクト情報など、研究開発の企画や投資などの情報源として有用なツールと感じた